



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード：6958)

2002年3月期決算説明会

- ・ 2002年3月期 連結決算概要と次期業績予想
- ・ 中期見通し概要

2002年5月28日
日本シイエムケイ株式会社



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード：6958)

Contents

・ 2002年3月期 連結決算概要と次期業績予想

1 . 総括	3 ~ 4
2 . 売上高の状況	5 ~ 8
3 . 営業利益の状況	9 ~ 10
4 . 設備投資の状況	11 ~ 12
5 . キャッシュフローの状況	13
6 . 有利子負債・ROA・ROE	14
7 . 研究開発	15
8 . 03/3 実施計画	16 ~ 18

・ 中期見通し概要

1 . 総括	19 ~ 21
2 . 販売計画	22 ~ 23
3 . 営業利益計画	24
4 . 設備投資計画	25 ~ 26
5 . 予想キャッシュフロー	27
6 . 予想有利子負債・ROA・ROE	28

【 】 2002年3月期 連結決算概要と次期業績予想

1. 総括 - 売上・営業利益

02/3期 <売上>
IT不況、同時多発テロ、中国ローカルメーカーの台頭、
デフレ下の価格ダウン。

<利益>

売上減、ビルドアップ・パッケージの不振
海外工場立ち上げの遅れ

03/3期 <売上>
携帯、DSCを中心としたビルドアップ基板の受注増と
DVD等デジタル機器の増加、車載用の堅調な伸びにより
10%の伸び。

<利益>

前期後半からの固定費圧縮効果、海外子会社の売上増、
稼働率上昇により営業利益61億円改善。

1 . 総括 -

(単位:億円)

	01/3 (実績)	02/3 (実績)			03/3 (計画)		
		上期	下期	計	上期	下期	計
売上	1,222	534	510	1,045	550	600	1,150
営業利益	92	0	11	11	15	35	50
経常利益	86	1	15	17	11	32	43
当期利益	41	5	22	28	3	15	18

* 数字は切り捨てにて表示。
%は小数第2位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

2 . 売上高の状況

< 片面板 >

02/3期	国内から中国への移管、中国ローカルメーカーの台頭 価格ダウン	2 6 %
03/3期	更なる中国移管 中国工場をフル稼働へ	+ 3 %

< 両面板 > < 多層貫通板 >

02/3期	国内から中国への移管、中国工場的能力不足 価格ダウン	1 0 %
03/3期	中国工場増産整備へ、デジタル機器、車載の伸び	+ 1 2 %

< IVH ・ B/UP ・ PKG >

02/3期	I T不況、パッケージ基板は予定に比べ大幅ダウン	2 1 %
03/3期	カメラ付携帯・D S C用基板の需要増、 パッケージ基板の増加	+ 6 0 %

2 . 売上高の状況

製品別

(単位:億円)

	01/3 (実績)	02/3 (実績)			03/3 (計画)		
		上期	下期	計	上期	下期	計
片面板	340	132	120	253	125	135	261
両面板	256	106	103	209	114	121	236
多層貫通板	274	132	135	267	141	156	298
IVH・B/UP・PKG	172	77	58	136	98	119	218
量産外	179	86	92	178	69	66	136
合計	1,222	534	510	1,045	550	600	1,150
(内海外子会社)	(176)	(76)	(91)	(167)	(94)	(138)	(233)

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

2. 売上高の状況 - 用途別動向

03/3期 見込み	当社の動向		コメント
	上期	下期	
通信(移動体・電話・インフラ)			カメラ付携帯電話の大幅増
コンピュータ(PC・周辺機器)			特に中国品・周辺機器が増加
ビジュアル(テレビ・ビデオ・DVD)			DVDプレイヤー、DVC等デジタル機器増加
オーディオ(コンポ・MD・CD)			ほぼ横バイ
カメラ(DSC・インスタント)			DSCが大幅増加
アミューズメント(ゲーム・遊戯機器)			03/3期は若干、調整局面へ
カーエレ・車載			堅調な伸び
家電(冷暖房・セキュリティー)			セキュリティー関連伸びる
OA(コピ-・電卓)			通期では漸減傾向
その他			量産外の影響
合計			カメラ付携帯電話の追い風の影響大

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

2 . 売上高の状況

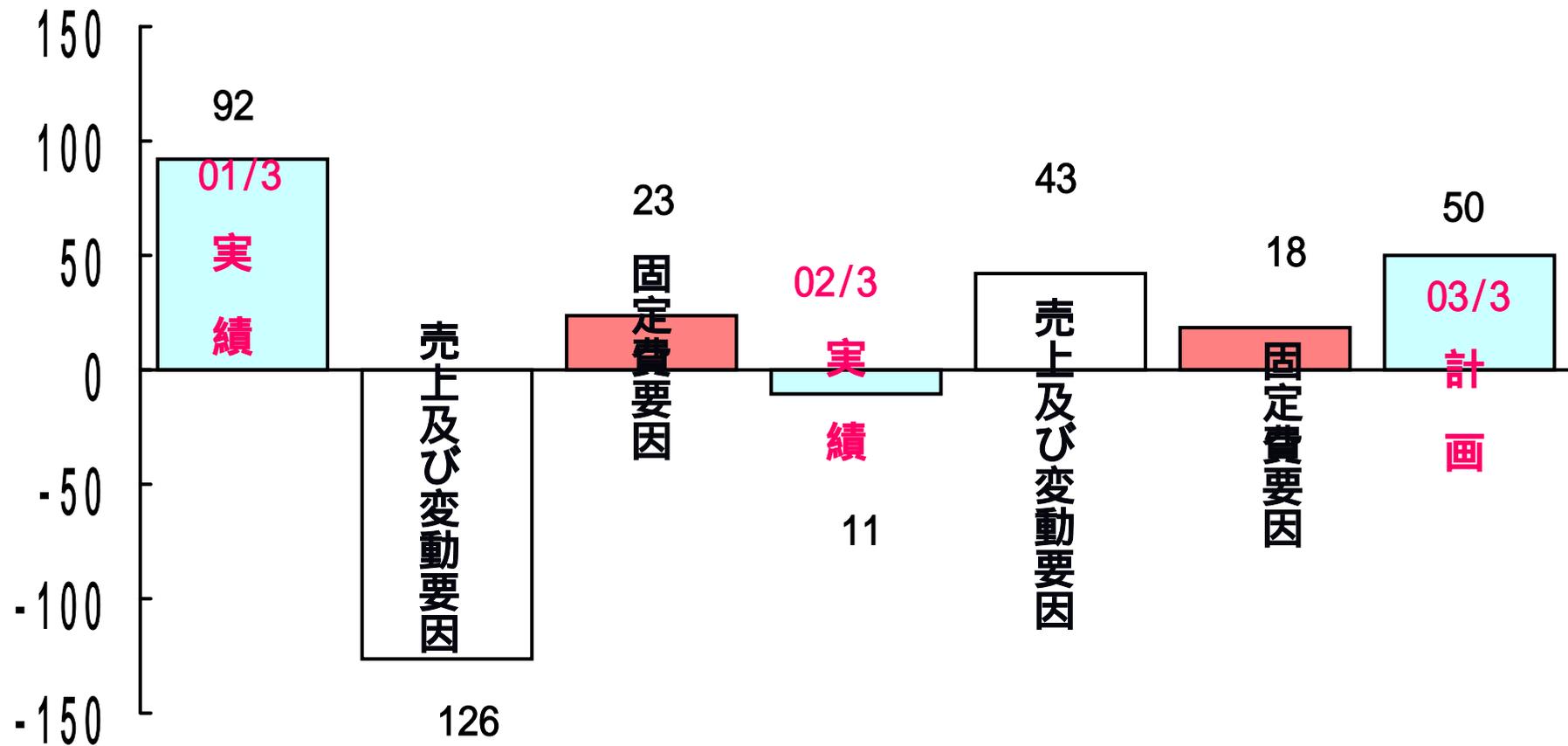
用途別

(単位:億円)

	01/3 (実績)	02/3 (実績)			03/3 (計画)		
		上期	下期	計	上期	下期	計
通信(移動体・電話・インフラ)	197	74	64	138	99	121	220
コンピュータ(PC・周辺機器)	148	58	58	116	62	67	130
ビジュアル(テレビ・ビデオ・DVD)	173	66	71	137	79	84	163
オーディオ(コンポ・MD・CD)	112	36	34	71	33	34	68
カメラ(DSC・インスタント)	34	25	11	37	21	23	45
アミューズメント(ゲーム・遊戯機器)	55	32	30	63	24	32	56
カーエレ・車載	173	97	102	199	105	110	215
家電(冷暖房・セキュリティー)	37	21	18	39	19	22	42
OA(北・電卓)	41	10	10	20	8	11	19
その他	249	112	109	222	95	91	186
合計	1,222	534	510	1,045	550	600	1,150

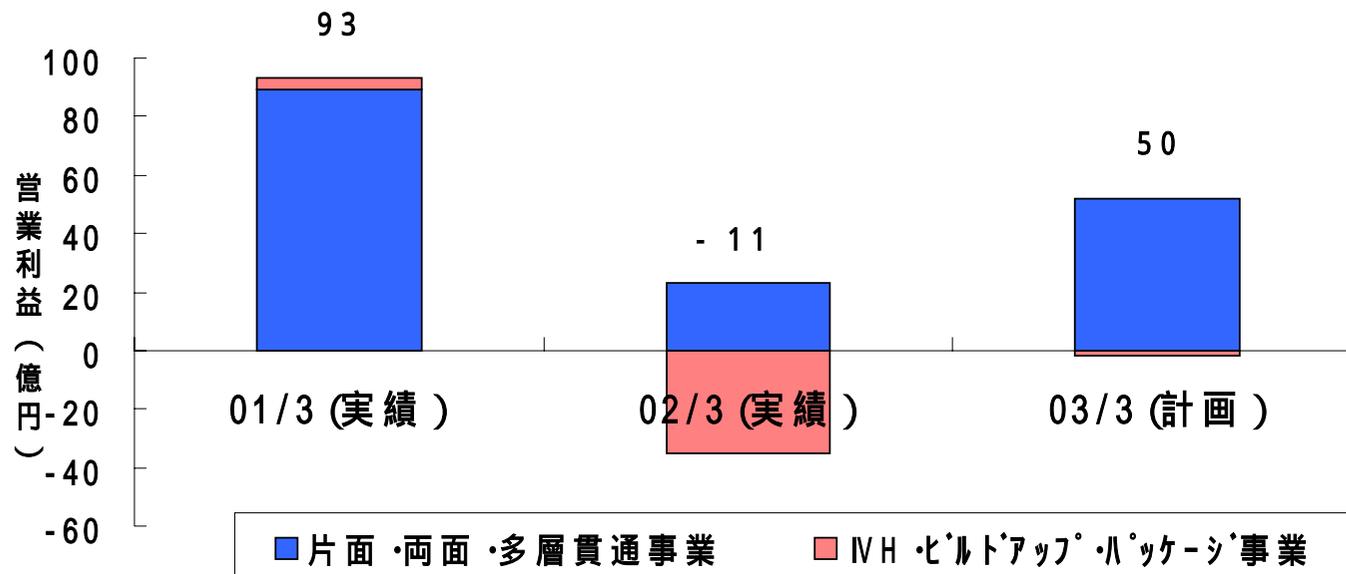
本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

3 . 営業利益の状況 02/3実績及び03/3計画の要因



本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

3 . 営業利益の状況



(単位: 億円)

	01/3 (実績)	02/3 (実績)	03/3 (計画)
片面・両面・多層貫通事業	89	23	52
IVH・ビルドアップ・パッケージ事業	4	35	2
合計	93	11	50
営業利益率(片面・両面・多層貫通事業)	8.5%	2.6%	5.6%
営業利益率(IVH・ビルドアップ・パッケージ事業)	2.2%	25.8%	1.3%
営業利益率(合計)	7.6%	1.1%	4.3%

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

4 . 設備投資の状況 主な内容

	02年3月期	03年3月期
車載用投資	約 9 億円	
両面・貫通投資 (中国・旗利得)	約 6 億円	
ビルドアップ関連	約 1 4 億円	約 7 3 億円 (内60億円は希門凱電子)
P K G 関連	約 6 億円	約 4 億円
高多層(通信インフラ)事業関連	約 1 0 億円	
システム投資	約 7 億円	約 4 億円
開発投資	約 5 億円	約 2 億円

4 . 設備投資の状況 (検収ベース)

(単位:億円)

	01/3 (実績)	02/3 (実績)	03/3 (計画)
片面・両面・多層貫通事業	44	42	20
IVH・B/UP・PKG事業	34	31	77
その他	19	26	15
計	97	100	113
減価償却費	103	100	102

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

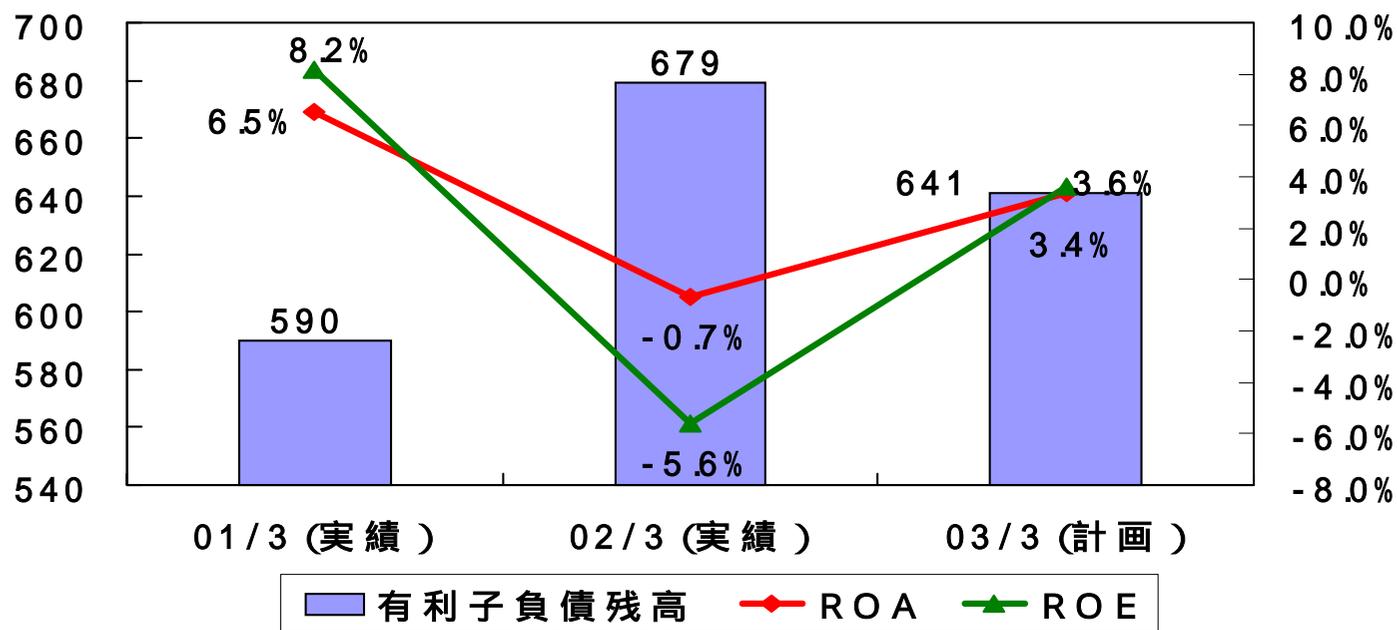
5 . キャッシュフローの状況

(単位:億円)

		01/3 (実績)	02/3 (実績)	03/3 (計画)
C/F	当期利益	41	28	18
	減価償却費	103	100	102
	他含む営業活動CF計	144	107	122
	投資活動CF計	70	156	102
	借入金増減	95	81	38
	他含む財務活動CF計	107	84	20
	現預金増減額(CF計)	43	35	0

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

6 . 有利子負債・ROA・ROE



	01/3 (実績)	02/3 (実績)	03/3 (計画)
有利子負債残高	590	679	641
総資産	1,447	1,494	1,500
ROA	6.5%	0.7%	3.4%
ROE	8.1%	5.6%	3.6%
EPS	80円	54円	34円

ROA : 事業利益 (営業利益 + 受取利息配当金) / 総資産

ROE : 当期利益 / 資本

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

7 . 研究開発

(1)技術研究費

(単位:億円)

	01/3 (実績)	02/3 (実績)	03/3 (計画)
技術研究費	14	9	12

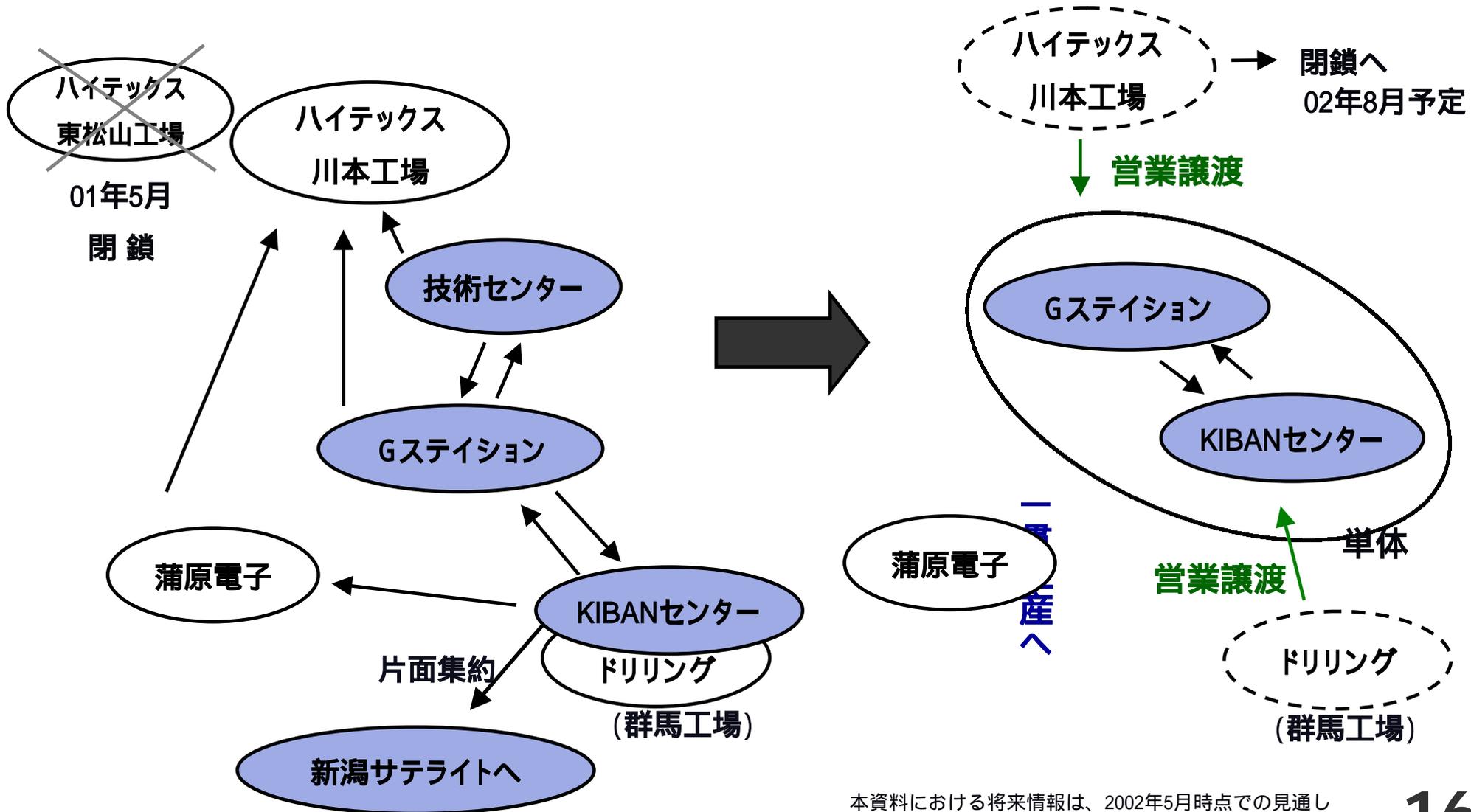
(2)研究開発の成果

基板： P P B U 極薄ビルドアップ基板 R F
両面サブストレート 金属ベース基板
部品内蔵基板

要素技術： ファイン化技術 フィルドビア技術
新型ソルダーレジスト

8 . 03/3 実施計画

(1) 国内生産体制の再構築



本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

(2) 主に携帯電話向けビルドアップ基板の拡販

ドコモ、au、Jフォンが揃ってカメラ付携帯に注力するのに伴い、当社のビルドアップ基板が大幅受注増となる見込み。

- ・ Jフォンに加え、02/6からNTTドコモのカメラ付携帯電話の販売開始

当社予測

本年度、両社のカメラ付携帯販売台数

500～600万台

- ・ アリブに加え、PPBU, RF-3の携帯への本格採用

(3) 海外所在地別の利益改善

(単位:億円)

	営業利益	
	02 / 3期	03 / 3期
アジア	3	5
中国	8	0
ヨーロッパ	2	1
海外合計	7	4

計画レート 120円 / US \$

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

【 】中期見通し概要 (02/4 ~ 05/3)

1. 総括

(単位:億円)

	02/3 (実績)	03/3 (計画)	04/3 (計画)	05/3 (計画)
売上	1,045	1,150	1,270	1,350
営業利益	11	50	63	75
経常利益	17	43	57	70
当期利益	28	18	30	38

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

市場の動向（当社予測）

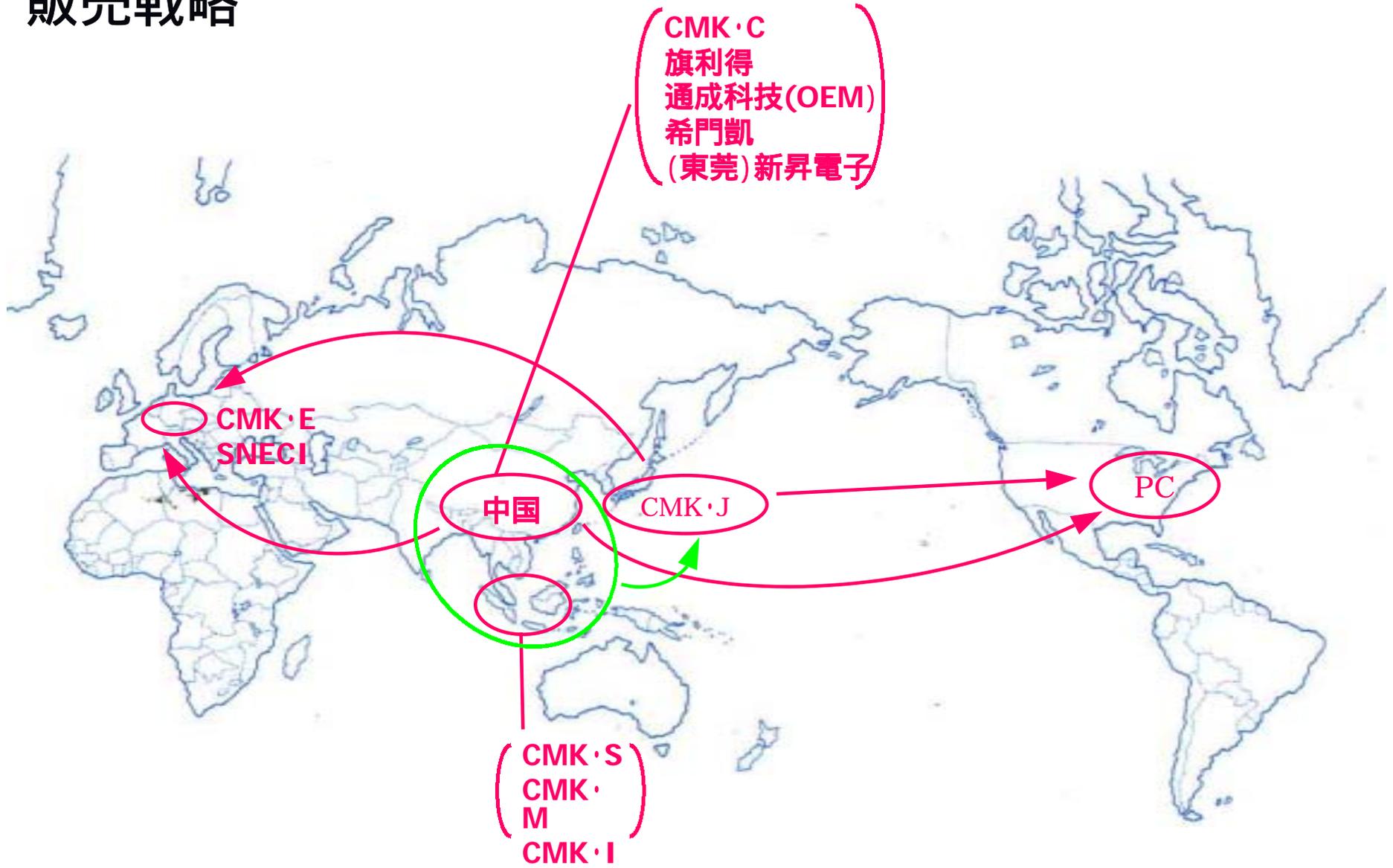
（単位：百万台，％）

	01年度(02/3期)	04年度(05/3期)	年率
携帯電話	373	560	14.5
PDA	12	17	12.4
PC	129	160	7.4
液晶モニター	15	45	44.2
DVDプレイヤー	31	53	19.6
DSC	20	27	10.5
ゲーム機	24	23	-1.4
カーナビ	4	8	26.0

参考資料：「2002ワールドワイドエレクトロニクス市場総調査」
富士キメラ総研

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通し
であり、その実現を保証するものではありません。

販売戦略



2 . 販売計画

製品別

(単位:億円)

	02/3 (実績)	03/3 (計画)	04/3 (計画)	05/3 (計画)
片面板	253	261	267	261
両面板	209	236	228	217
多層貫通板	267	298	314	340
IVH・B/UP・PKG	136	218	313	380
量産外	178	136	145	149
合計	1,045	1,150	1,270	1,350
(内海外子会社)	167	233	334	400

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

2 . 販売計画

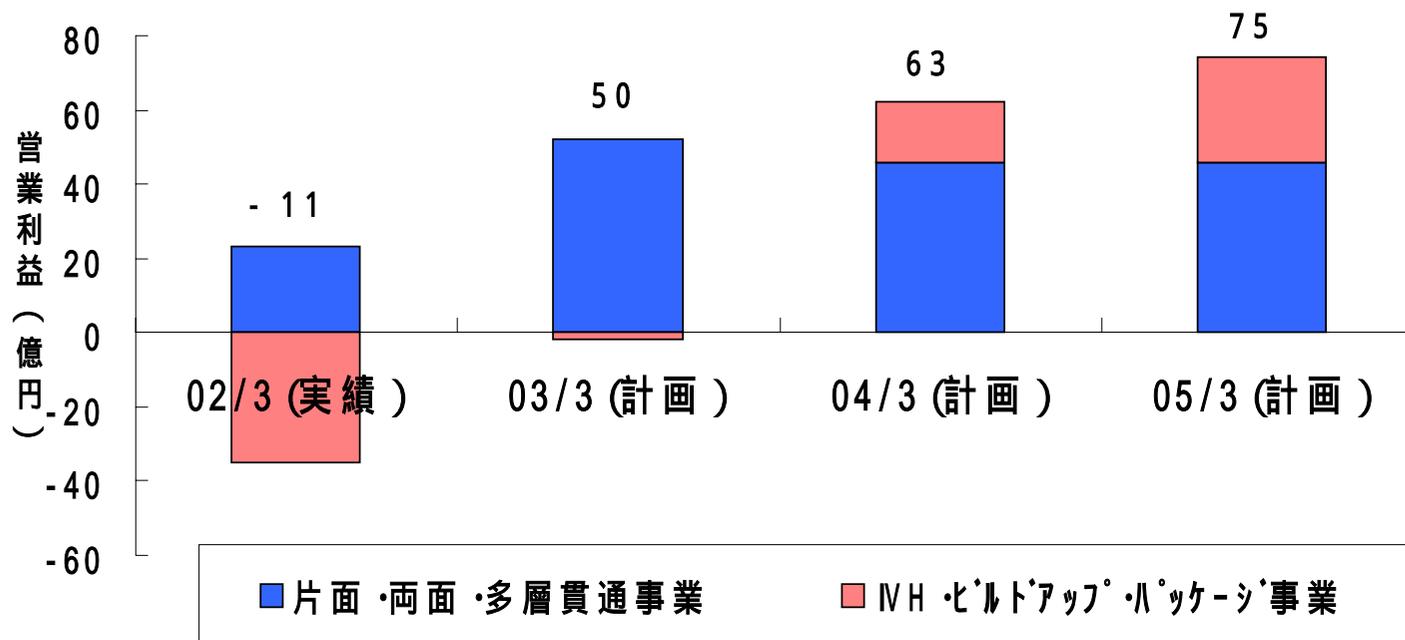
用途別

(単位:億円, %)

	02/3 (実績)	03/3 (計画)	04/3 (計画)	05/3 (計画)	年率 (02/3 ~ 5/3)
通 信(移動体・電話・インフラ)	138	220	269	302	29.9
コンピュータ(PC・周辺機器)	116	130	143	150	8.9
ビジュアル(テレビ・ビデオ・DVD)	137	163	175	183	10.1
オーディオ(コンポ・MD・CD)	71	68	62	60	-5.5
カメラ(DSC・インスタント)	37	45	73	83	30.9
アミューズメント(ゲーム・遊戯機器)	63	56	64	73	5.0
カーエ・車載	199	215	234	249	7.9
家電(冷暖房・セキュリティー)	39	42	35	32	-6.4
OA(北'ー・電卓)	20	19	17	16	-7.2
その他	222	186	194	198	-3.7
合 計	1,045	1,150	1,270	1,350	8.9

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

3 . 営業利益計画



(単位: 億円, %)

	02/3 (実績)	03/3 (計画)	04/3 (計画)	05/3 (計画)
片面・両面・多層貫通事業	23	52	46	46
IVH・ビルドアップ・パッケージ事業	35	2	16	28
合計	11	50	63	75
営業利益率(片面・両面・多層貫通事業)	2.6%	5.6%	4.7%	4.6%
営業利益率(IVH・ビルドアップ・パッケージ事業)	25.8%	1.3%	5.8%	8.1%
営業利益率(合計)	1.1%	4.3%	5.0%	5.6%

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

4 . 設備投資計画 -

中期設備投資の主な内訳 (04/3期及び05/3期)

ビルドアップ関連

約 5 3 億円

(内 2 1 億円は希門凱電子)

P K G 関連

約 5 億円

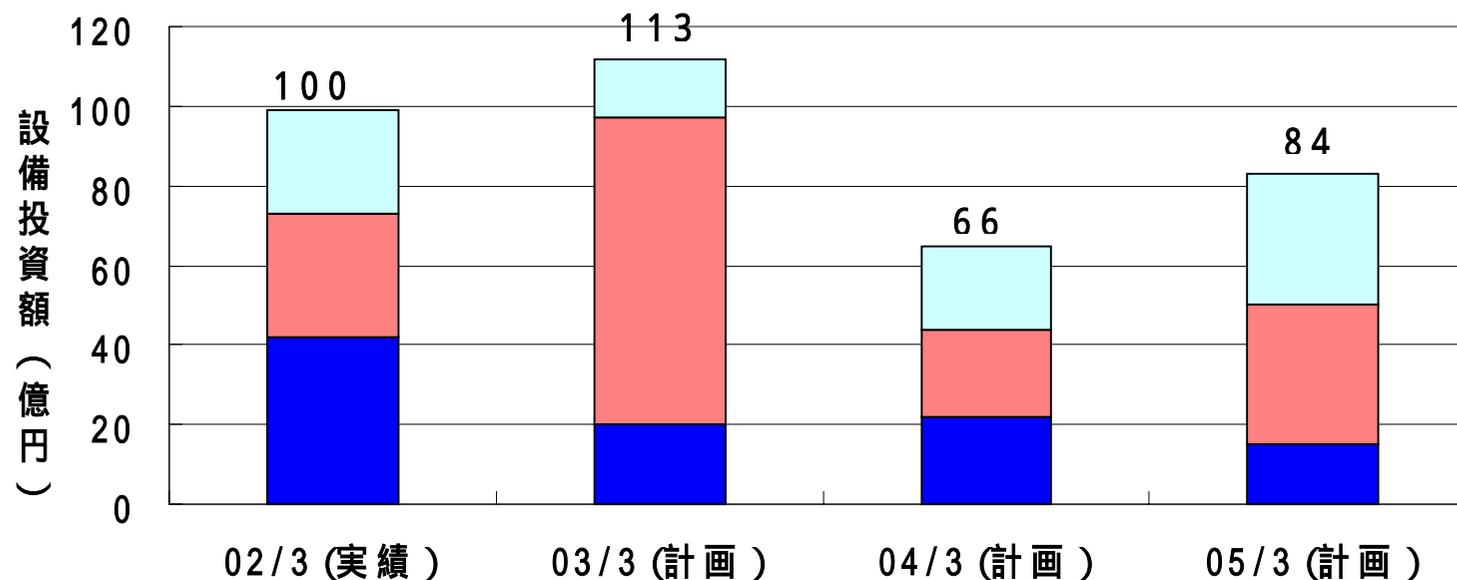
高多層(通信インフラ)事業関連

約 1 8 億円

開発投資

約 2 5 億円

4 . 設備投資計画 -



■ 片面・両面・多層貫通事業 ■ IVH・ビルトアップ・パッケージ事業 ■ その他

(単位: 億円)

	02/3 (実績)	03/3 (計画)	04/3 (計画)	05/3 (計画)	3ヶ年計画累計
片面・両面・多層貫通事業	42	20	22	15	58
IVH・ビルトアップ・パッケージ事業	31	77	22	35	135
その他	26	15	21	33	69
計	100	113	66	84	264
減価償却費	100	102	95	91	289

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

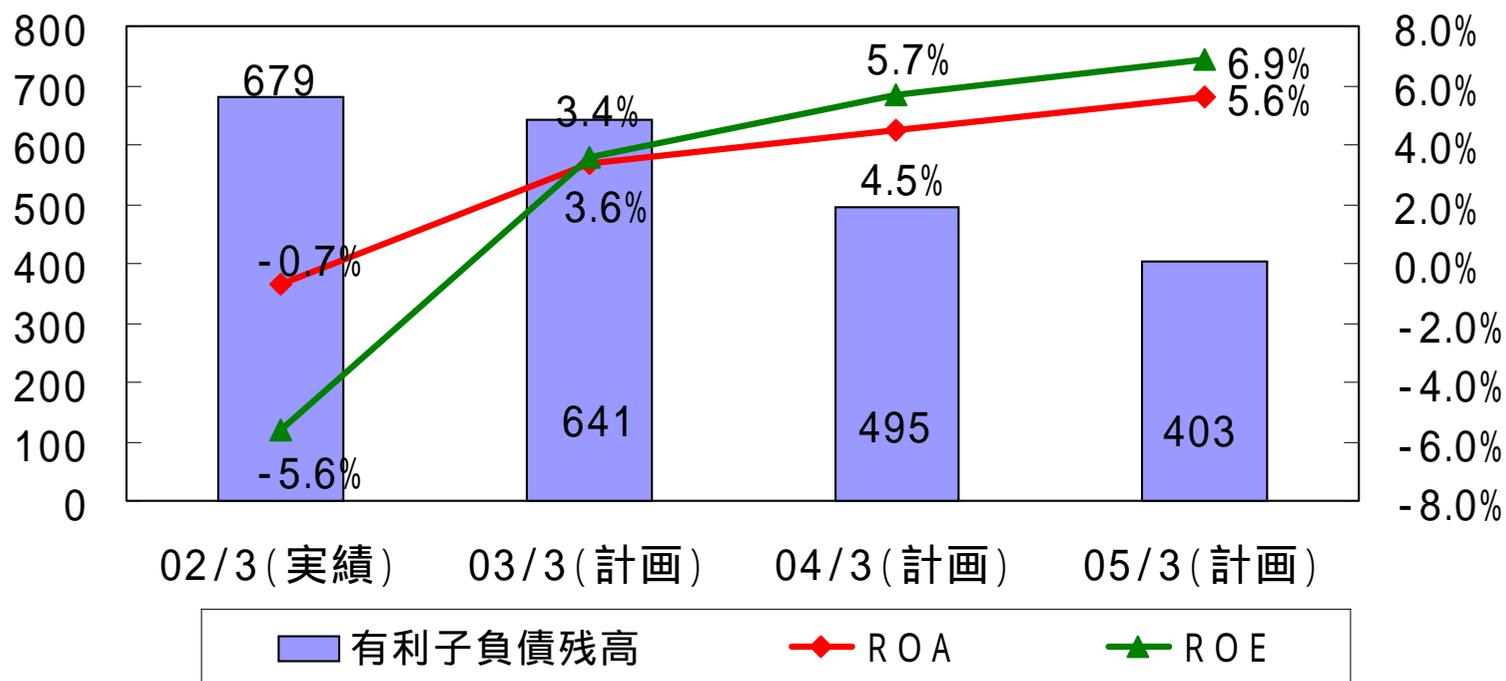
5 . 予想キャッシュフロー

(単位:億円)

		02/3 (実績)	03/3 (計画)	04/3 (計画)	05/3 (計画)	中期3ヵ年 (計画)
C/F	当期利益	28	18	30	38	86
	減価償却費	100	102	95	91	289
	他含む営業活動CF計	107	122	134	176	432
	投資活動CF計	156	102	67	84	253
	借入金増減	81	38	146	92	276
	他含む財務活動CF計	84	20	146	92	258
	現預金増減額(CF計)	35	0	79	0	79

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

6 . 予想有利子負債・ROA・ROE



(単位: 億円)

	02/3 (実績)	03/3 (計画)	04/3 (計画)	05/3 (計画)
有利子負債残高	679	641	495	403
総資産	1,494	1,500	1,396	1,350
ROA	0.7%	3.4%	4.5%	5.6%
ROE	5.6%	3.6%	5.7%	6.9%
EPS	54円	34円	57円	72円

本資料における将来情報は、2002年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。